

大阪Reportレポート



長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol. 9 (2023.2.1)

長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

関西の今<トピックス>

- <2025年大阪・関西万博>「テーマウィーク」期間中実施 <https://www.expo2025.or.jp/>
 - ・万博期間中、地球規模の課題解決に向けた対話「テーマウィーク」の実施を公表。週替わりでテーマを設定し、シンポジウムや国際会議、ビジネス交流、展示会などを開催。
 - ・万博会場への移動手段として商用運航を目指す「空飛ぶクルマ」の運航事業者公募に、日本航空とANAホールディングスが応募と報道、大阪市中心部・関西空港・湾岸エリアからの3ルート of 確保を目指す。
- <観光> 訪日客急回復、インバウンド受け入れ準備進む
 - ・12月の訪日客が137万人と2年10か月ぶりに単月で100万人を超え、関西各地でも急回復。一方、春節（旧正月）期間の中国本土の客は戻らず、期待された効果は限定的との声も。
 - ・関西空港12月国際線旅客数は79万人でコロナ前の4割まで回復、韓国・台湾・香港マカオが上位、マレーシア・クアラルンプール、LCCのタイ・バンコク定期便が12月から新たに就航
 - ・商売繁盛を祈願する「十日えびす」が関西各地のえびす神を祭る神社で開催。福娘の掛け声や、境内を疾走する「福男選び」が3年ぶりに復活。
- <産業> 企業物価、消費者物価上昇、震災復興から未来への投資も
 - ・エネルギーや原材料の輸入価格高騰が響き、12月の企業物価指数が10.2%上昇（前年同月比・日銀発表）、一方1月の大阪市の消費者物価指数が4.8%上昇（前年同月比・大阪府・速報値）で41年9か月ぶりの伸び率、企業・家計ともにコストアップで経営を圧迫。
 - ・阪神大震災から28年、神戸市中心部の三ノ宮で大型の再開発計画進捗。地上32階の新駅ビル、西日本最大級の中長距離バスターミナル、1万人収容アリーナや市役所新庁舎など整備予定続々。

大阪での取り組みの今

最近のトピックスを紹介

- 「日本旅行Tis 大阪支店スノーリゾートPRコーナー」
(1/7~2/11 : JR 大阪駅構内日本旅行Tis 大阪支店内)

⇒日本旅行の協力で支店内にPRコーナーを設置、「ウェルカム信州アクティビティ割」を中心に、信州のスノーリゾートを動画・ポスター等でPR～



★「上高地あずさ珈琲と農家・生産者等との懇談会・店舗視察」(1/19～20：畿内3店舗)

⇒～県営業局主催で、上高地あずさ珈琲とのさらなる取引拡大を目指し、店舗マネージャーとの意見交換や視察会を実施、約20名が参加。出荷した野菜やりんごなどが、華やかなサラダやスイーツとして提供され、販売されている状況やお客様の評価を聞く中で、今後の取組みの加速を確認。



★「ららぽーと甲子園」店舗にもアルクマの巨大ぬいぐるみが登場！

⇒「上高地あずさ珈琲阪急三番街店」に続いて、「ららぽーと甲子園店」にも、アルクマの巨大ぬいぐるみが登場、観光パンフレットのコーナーも充実、信州の特産品約400アイテムが揃うマルシェはまさに民営のアンテナショップ



<リアル展示商談会に県からも出展>

☆「Japan IT Week」(1/18-20：インテックス大阪)

～関西最大IT展示会に産業労働部が出展、本県はIT企業・人材の誘致やITバレー構想をPR～



☆「FOOD STYLE 関西」(1/25-26：インテック大阪)

～「全国の食を関西にもっと！」をテーマの商談展示会、長野県からも加工食品メーカーが出展～



<全国都道府県対抗駅伝競走大会>

(<女子> 1/15：京都市京都陸上競技場 <男子> 1/22：広島市平和記念公園前)

～全国都道府県対抗駅伝が2週にわたり開催、女子は11位、男子は新記録で連覇・9回目の優勝、県人会の皆さんをはじめとした熱い沿道の応援も戻る。～



<近畿県人会定期総会・新年懇親会> (1/29：ホテルグランヴィア大阪)

～昨年60周年を迎えた近畿長野県人会の総会と新年懇親会が約110名の参加者で盛大に開催。会の最後には「信濃の国」を6番まで熱唱。県人会は出身者や信州に想いを寄せ長野県を応援してくれる個人法人の交流組織で、駅伝や高校野球の応援、関西での観光物産展などのイベントへの協力等、事務所との連携もさらに充実。



